

博多国際展示場&カンファレンスセンター 西鉄グループでは初となるオンサイトPPA事業を開始します - 実質100%再エネで施設を運営へ -

- 西鉄自然電力合同会社(福岡市博多区、代表:林田 安弘、以下「西鉄自然電力」)は、博多国際展示場&カンファレンスセンター(福岡市博多区)において、オンサイトPPA事業を4月1日(月)より開始いたしました。
- 西鉄自然電力では、2050年カーボンニュートラルの実現を見据えた再生可能エネルギー導入機運の高まりを受け、九州エリアにおける脱炭素化や地域レジリエンスを目指し、西鉄グループや自治体が所有する施設への太陽光発電設備の設置ならびに、再エネ電力の供給に取り組んでおります。
- 今回、博多国際展示場&カンファレンスセンターにおいて西鉄グループ内施設では初となるオンサイトPPA事業を開始します。屋根上に442枚の太陽光パネルを設置し、年間180,195kWh(初年度)の発電(同施設で消費する電力の約20%)を見込んでおります。
- また、残りの約80%の電力を、再エネECOプラスへ契約変更することで、受電電力の実質「CO₂ゼロエミッション」と「再エネ化100%」を実現した環境配慮型の施設に生まれ変わります。
- 西鉄自然電力では、今後も西鉄グループ内施設へのオンサイトPPA事業を推進することで、太陽光発電等の再生可能エネルギーによる脱炭素化を図るとともに、各種企業とも連携して再生可能エネルギーを起点とした地域振興策に取り組んでまいります。



■ 博多国際展示場&カンファレンスセンター屋根上におけるオンサイトPPAについて

【所在地】	福岡県福岡市博多区東光2丁目
【設置面積】	3,232㎡
【発電容量】	173kWp(DC)
【想定発電量】	年間180,195kWh
【事業期間】	2024年4月1日より20年間



(参考) 西鉄自然電力合同会社の概要

【会社設立】	2022年4月
【資本金】	10百万円
【代表者】	職務執行者 林田 安弘
【本社所在地】	福岡県福岡市博多区博多駅前三丁目5番7号
【事業内容】	自然エネルギーによる発電事業、エネルギーマネジメント事業

(参考) 西鉄自然電力のこれまでの取り組み ※再エネ(オンサイトPPA)開発実績など

開発地	内容	開始日
福岡県八女市	八女市におけるカーボンニュートラル実現・SDGs推進に関する包括連携協定	2022年11月2日
福岡県直方市	直方市の汚泥再生処理センターにおけるオンサイトPPA事業	2023年8月31日
福岡県うきは市	官民による地域エネルギー商社の設立	2024年2月9日

【お問い合わせ先】

西日本鉄道株式会社 広報・CS推進部広報課 田中、椎葉(Tel:092-734-1383) まで
自然電力グループ広報担当 幸野(Email:se-comm@shizenenergy.net) まで